

感震ブレーカーに関する意識と普及状況に関する調査

(首都直下地震緊急対策区域(地震時等に著しく危険な密集市街地))(令和元年9月)

1. 「感震ブレーカー」等に関する質問にお答え下さい。

大規模地震で発生する火災の出火原因として最も多いのが電気火災です。電気火災は、大きな揺れにより、配線のショートや、転倒した電気ストーブ等が可燃物に燃え移るなどにより発生します。

電気火災による出火防止対策として、「感震ブレーカー」が効果的であると考えられています。

「感震ブレーカー」とは、地震を感知すると強制的にブレーカーを落として電気を遮断する機能を持つもので、下記のようなタイプのものがあります。(いずれのタイプも、遮断後に手動で戻すことが出来ます)

感震ブレーカーのタイプ

分電盤タイプ (内蔵型)	分電盤タイプ (後付型)	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5~8万円 (標準的なもの)	約2万円	約5,000円~2万円	3,000円~4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

見た目には、一般の分電盤との違いがわかりにくいですが、「感震ユニット」「感震リレー」などの表記があります。

問1-1 次のうち、(1年のうちのいずれかの時点において) ご自宅で使用されるものはありますか。(〇はいくつでも)

1. 電気ストーブ、電気こたつ、ホットカーペット
2. 電気コンロ、IHクッキングヒーター
3. 電気オーブントースター・電子レンジ
4. 電気スタンド・白熱スタンド (デスクライト・テーブルランプ)
5. 電源タップ
6. 観賞魚用ヒーター
7. その他電気機器 (テレビ・冷蔵庫・エアコン・洗濯機等)

問1-2 「感震ブレーカー」をご存じでしたか。(〇は1つ)

1. 以前から知っていた
2. 今回初めて知った

問1-3 「感震ブレーカー」は、一般の分電盤、漏電ブレーカー、雷サージ付きの電源タップなどと異なり、大きな揺れ（震度5強程度以上）を感知すると電気を遮断する特殊な装置が付いたものです。「感震ブレーカー」が、そのようなものであることをご存じでしたか。（○は1つ）

1. 知っていた

2. よく理解していなかった

問1-4 感震ブレーカーを自宅に所有または設置していますか。（○は1つ）

1. 設置している

2. 所有しているが、設置していない

3. 所有していない

※問1-4で「3. 所有していない」を選択した方は、問1-11（4ページ）へお進み下さい。

【問1-5～問1-10については、問1-4において「1. 設置している」または「2. 所有しているが、設置していない」と回答された方に対する設問です。】

問1-5 どのタイプの感震ブレーカーを所有していますか。（○はいくつでも）

※同封のパンフレットもご参照ください。

1. 分電盤タイプ（内蔵型）

2. 分電盤タイプ（後付型）

3. コンセントタイプ

4. 簡易型

問1-6 どのような方法で入手しましたか。（○はいくつでも）

1. 自治体の補助制度を活用し、建築業者や住宅メーカーに依頼し購入

2. 自治体の補助制度を活用し、家電量販店で購入

3. 自治体の補助制度を活用し、自治体から購入

4. 自治体から無償で入手

5. 建築業者や住宅メーカーに依頼し、自費で購入

6. 家電量販店から自費で購入

7. 初めから既に設置されていた

8. その他（具体的に↓）

問1-7 入手時期はいつごろですか。複数回に分けて入手した場合は最も古い時期をお答え下さい。（○は1つ）

1. ここ1年以内に購入

2. 1年よりも前で5年以内に購入

3. 5年以上前に購入

問1-8 感震ブレーカーを入手したきっかけは、どのようなものですか。(○はいくつでも)

1. 自治体職員から聞いた・勧められた
 2. 自治体の広報を見た(ポスター、ホームページ等)
 3. 自主防災組織や地域住民から聞いた・勧められた
 4. 建築業者や住宅メーカーから聞いた・勧められた
 5. 家電量販店で聞いた・勧められた
 6. 家族、知人から聞いた・勧められた
 7. テレビ等で紹介されていた
 8. その他(具体的に↓)
-

問1-9 感震ブレーカーを購入・設置したのは、どのタイミングですか。(○は1つ)

1. 新築時
2. リフォーム時
3. 賃貸の入居時
4. それ以外のタイミング

問1-10 感震ブレーカーを購入・設置してどのように感じていますか。(○は1つ)

1. 地震時に作動したことがあり、安心できた
 2. 地震時に作動したが、どちらかという不満・不安を感じた
 3. 地震が発生していないにもかかわらず誤作動し、困惑した
 4. これまで作動するような機会がないので実際に作動するかどうか不安
 5. わからない
 6. その他(具体的に↓)
-

※問1-10まで回答された方は、問1-14(6ページ)へお進み下さい。

【問1-11~問1-13は、問1-4において「3. 所有していない」と回答された方に対する設問です。】

問1-11 あなた自身もしくはご家族は「感震ブレーカー」を設置してもよいと思いますか。(○は1つ)

1. 設置したい
2. 設置したくない
3. どちらとも言えない

※問1-11で、「1. 設置したい」を選択した方は、問1-12（5ページ）へ、
「2. 設置したくない」または「3. どちらとも言えない」を選択した方は、問1-13
（5ページ）へ、それぞれお進み下さい。

【問1-12は、問1-11において「1. 設置したい」と回答された方に対する設問です。】

問1-12 今後設置するとしたら、どのタイプの感震ブレーカーを設置したいと思いますか。
（〇はいくつでも）

1. 分電盤タイプ（内蔵型）〔約5～8万円、電気工事が必要〕※1
2. 分電盤タイプ（後付型）〔約2万円、電気工事が必要〕※1
3. コンセントタイプ〔約5,000円～2万円、電気工事が必要なタイプとコンセントに差し込むだけのタイプがある〕※2
4. 簡易型〔3,000円～4,000円程度、電気工事が不要〕※3

※1：分電盤タイプの場合は、地震直後に通電を遮断するだけでなく、遮断までに数分の猶予時間を確保できる機能も提供されている。この場合、夜間の地震により作動しても、直ちに照明が消えないことから、直ちに懐中電灯を使わずとも避難などを行うことができるメリットがある。

※2：コンセントタイプは、コンセント単位での電気遮断を行うものであり、家庭用医療機器や高齢者等の避難を支援する上で必要な照明などの通電の確保の観点から、全ての電気を遮断することが適当でない場合に、地震時の出火要因となりやすい電気ストーブや電気トースター、鑑賞魚用ヒーターのほか、大型の電気製品などを接続しているコンセントに利用すると効果的であると考えられる。

※3：簡易タイプは、ばねの作動や重りの落下などの手法により、地震を感知するとブレーカーのスイッチを切るものであり、機構としては簡易である。しかし、模擬実験により、適切に設置することで必要な性能が確保できることが確認されており、一般財団法人日本消防設備安全センターの「消防防災製品等推奨制度」内において、性能評価に基づく認証（推奨）も実施されている。

※問1-12を回答された方は、問1-14（6ページ）へお進み下さい。

【問1-13は、問1-11において「2. 設置したくない」または「3. どちらとも言えない」と回答された方に対する設問です。】

問1-13 感震ブレーカーを設置したいと思わない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 電気が遮断されることに不安を感じるから
2. 電気火災の危険性を感じないから
3. 感震ブレーカーの値段が高いから
4. 感震ブレーカーの効果に疑問があるから
5. 感震ブレーカーの取り付けが難しいと思うから
6. その他（具体的に↓）

